

「ムンプスワクチン（流行性耳下腺炎の予防接種）」

◎ムンプスのワクチンを受けようかどうか迷ってられる方、参考にして下さい

問題となる副作用は、約 1000～2000 人に 1 人のワクチンによる無菌性髄膜炎の発生です。ただ、自然感染の場合の 10分の1の発症率です。その他の合併症も自然感染よりも少ないです。

罹ったかどうかわからないのですが、その場合はどうしたらよいでしょう？

不顕性感染が 30～40%もあり、抗体を有する児に予防接種を施行してしまう可能性があります。血液検査で抗体価をしらべることができますが、抗体を有している児に予防接種をしても、問題はありません。

アレルギー体質といわれていますが、大丈夫でしょうか？

卵、ゼラチン、抗生剤アレルギー既往者には注意が必要です。



ワクチン接種者から他人への感染は？

ありません。

ワクチン接種をすれば、罹りませんか？

ワクチンによる抗体陽性率は 90～95%ですので、ワクチンを受けた人の 10人に 1人は罹ることになります。獲得した抗体は 10年後にも維持されていることが確認されています。

またムンプスに罹っている子どもと接触して、緊急にワクチンを接種しても予防できません。

接種年齢はいつがいいのでしょうか？

ムンプスは 3～4歳が最も多く、2～9歳が好発年齢です。1歳過ぎれば接種可能ですので、2歳までに接種されることをお勧めします。